

国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）中長期目標の変更について

令和 4 年 1 2 月 1 5 日

科学技術・学術政策局人材政策課

1. 令和 4 年度補正予算に伴う変更

○スタートアップ創出の推進の記載の追加【本文：P 4、評価軸等：P 9】

令和 4 年度第二次補正予算において、大学発新産業創出基金補助金に大学発ベンチャー創出力の強化に向けて、研究開発やスタートアップ創出体制の整備を支援するための予算が計上されたことに伴い、研究開発成果の事業化やその海外展開の可能性検証のための研究開発及び地域の中核大学等を中心とした産学官共創による事業化支援等を実施可能な環境の形成を推進することを支援する旨を本文に定めるとともに、関連する評価軸等を定める。

○革新的 GX 技術創出の推進の記載の追加【本文：P 1、P 3～5、評価軸等：P10】

令和 4 年度第二次補正予算において、革新的 GX 技術創出事業基金補助金に将来の産業成長と 2050 年カーボンニュートラルの実現に向けた大学等での基盤研究開発を推進するための予算が計上されたことに伴い、グリーン成長につながる重要な技術領域において、分野や組織を横断した全国のトップ研究者の連携体制を構築し、革新的な GX 技術の創出に向けた研究開発を推進する旨を本文に定めるとともに、関連する評価軸等を定める。

○先端国際共同研究基盤の強化の記載の追加【本文：P 1、P 5～6、評価軸等：P12】

令和 4 年度第二次補正予算において、先端国際共同研究基金補助金に国際頭脳循環を推進するための予算が計上されたことに伴い、国が設定する分野・領域及び諸外国を対象として国際的に優れた研究成果創出に向けた国際共同研究を戦略的・機動的に推進するとともに、日本人研究者の国際科学トップサークルへの参入及び若手研究者の交流強化を図り、国際頭脳循環の活性化及び次世代の優秀な研究者の育成に貢献する旨を本文に定めるとともに、関連する評価軸等を定める。

2. 経済安全保障重要技術育成プログラムの制度設計の進捗に伴う変更

○経済安全保障の観点からの先端的な重要技術に係る研究開発に関する評価軸等の記載の更新【評価軸等：P 9】

内閣府を中心とした関係府省の検討の結果に基づいて経済安全保障重要技術育成プログラムの制度設計が進んだことから、関連する評価軸等を更新する。

3. 大学ファンドによる助成開始に向けた変更

○大学ファンドによる助成業務の記載の追加【本文：P6、評価軸等：P13】

「国際卓越研究大学の研究及び研究成果の活用のための体制の強化に関する法律」（令和4年法律第51号）の施行（令和4年11月15日）に基づき、文部科学大臣が決定した「国際卓越研究大学の研究及び研究成果の活用のための体制の強化の推進に関する基本的な方針」及びJSTが作成し文部科学大臣が認可した「国際卓越研究大学研究等体制強化助成の実施に関する方針」等に基づき、令和6年度以降の助成開始に向けて、JSTにおいて、助成の継続的・安定的な実施に必要な機能及び体制を整備し、助成の適正な実施を図るため、中長期目標を変更する。